

【中学生の部：文部科学大臣賞】

「そのままがいいんだよ」

徳島県・東みよし町立三加茂中学校

1年 山岡 詩 さん

私には弟がいます。弟は今小学四年生で明るく活発で、そしてとても優しい男の子です。でも、学校の学習については教科書どおりにはできず、弟に合ったように特別支援の先生が工夫して教えてくれています。弟は、二年生の時に習う九九を今習い始めました。九九の唄のリズムに乗って覚えている弟を見て、「ガンバレ!」と思います。考えてみると、弟は生まれてからずっと頑張り続けています。多くの子供はおよそ一歳頃から言葉をしゃべりはじめます。でも弟はなかなかしゃべらなかつたので、遠い病院まで行って言語の訓練をしていました。小学校へ入学するまでは、保育所・幼稚園と併用で近くの療育センターでいろいろな訓練をしてきました。それでも同級生の子のように勉強もできないし、おしゃべりも上手ではありません。弟はいつになってもみんなに追いつくことはできないのです。

私が弟の障害に気づいた頃、お母さんが私に話してくれました。弟がもう少し小さな頃今よりもずっと活発でお母さんはいつ事故にあうか毎日にはらはらしていたそうです。それと同時にそんな弟にイライラしていた時もあったそうです。ある日、散歩をしているといつも通りウロウロと動き回ったり、立ち止まって言うことを聞かない弟に「早く行くよ!何してるん?」と怒った口調で言葉をぶつけた母に、弟が何か差し出して、覚えてたの言葉で「これ、ど・う・ぞ。」と言ったそうです。見ると弟の小さな手にいっぱいのお花を摘んで、顔いっぱいの笑顔でお母さんに差し出していたそうです。お母さんは次の瞬間涙があふれてきて「ありがとう…きれいなお花摘んでくれよったんやな。ありがとう。」と言うのが精いっぱいだったそうです。そしてその時「このままでいい。他に何も望むことはない。」と思ったそうです。そして、弟の障害についても分かり易く教えてくれました。障害は病気ではなく、治らないことも。

私は弟の通っている療育センターで色々な障害を持った人を見ていたせいか、障害を持った人を特別だとは思いません。もちろん、自分の弟もそうです。本当に障害があるのかどうか分からなくなることもさえあります。でも、外にでるとやはり弟は障害を持った特別な人間なのかなと思わされます。それは、弟を見るみんなの目や態度です。弟の独特な行動をみてクスクス笑う人もいます。「弟があなたに何か悪いことした?迷惑かけた?弟が色々一生懸命頑張っている

ることあなたは知ってる？」私はそんな人に聞いてみたいです。

努力しても治療しても治らない障害。母があの日思ったように、ありのままの弟をみんなが、社会が受け入れてくれたなら弟の生活はどれだけ楽になることでしょう。それは難しいことではありません。人それぞれ性格や個性があるように、その人に合ったように接すればいいのです。人を思いやる気持ち、優しい心があればどんな人も安心して生きていける社会になると思います。

私はいつも頑張っている弟にこう言いたいです。「いつも頑張っていてすごいね。でもそのままのあなたでいいんだよ。」と。